

第39号 (2012年度)

金沢国際親善ニュース

バッファロー市姉妹都市提携50周年



全州市姉妹都市提携10周年



金沢市姉妹都市交流委員会

2012年10月28日から11月1日まで、山野之義・金沢市長を団長とする蘇州市・全州市訪問金沢代表団が、蘇州市と全州市を訪問しました。

1. 蘇州市プログラム (10月29日)

10月29日蘇州市呉中区にある溪江会所1階応接室にて、周乃翔・蘇州市長を表敬訪問しました。周市長は6月の市長就任以来、初めての対面になります。

また、寒山寺常楽池にて、環境協力事業開始式を行いました。そして、蘇州市立図書館では、同図書館への金沢市からの図書贈呈式が実施されました。金沢市立工業高等学校の姉妹校である蘇州高等職業技術学校では、両校校長間で交流確認書の署名が交わされました。



蘇州市長表敬・懇談の様子

2. 全州市プログラム (10月31日、11月1日)



全州市長から全州市名誉市民証を贈呈される山野市長

10月31日、姉妹都市提携10周年記念として全州市に設置されたことじ灯籠を視察したあと、宋河珍・全州市長とともに「姉妹都市提携10周年記念式典」に参加しました。同式典では、ことじ灯籠の寄贈式、全州市からの図書寄贈式、全州市から山野市長への名誉市民証授与などが実施されました。

これに先立ち、同日に、宋市長を表敬訪問しました。また、全州工業高等学校を訪問し、同校校長と金沢市立工業高等学校校長の間で、「友好交流に関する合意

書」署名が交わされ、両校は姉妹校となりました。また、全州市陸上連合会（現全州市統合陸上競技協会）を訪問し、2015年に開催される金沢マラソンの広報を行いました。

帰国日となる11月1日は、金沢市早朝ソフトボール連盟と円光大学校女子ソフトボール部間のソフトボール親善試合の開会式で、山野市長と張相辰・全州市副市長が始球式を行いました。



ことじ灯籠設置場所を訪問する金沢市代表団

●主な日程

- 10/28 小松空港より上海浦東空港着、蘇州市入り
- 10/29 寒山寺にて環境協力事業開始式、蘇州市立図書館への図書寄贈式、金沢市立工業高等学校と蘇州高等職業技術学校との交流確認書署名、蘇州市長表敬訪問
- 10/30 蘇州市発、上海浦東空港より仁川空港着、全州入り
- 10/31 韓屋村・トゥルレキル視察、慶基殿御眞博物館視察、全州市長表敬訪問、金沢市立工業高等学校と全州工業高校の姉妹提携式、ことじ灯籠設置現場視察、全州市陸上連合会（現全州市統合陸上競技協会）訪問（金沢マラソン広報）、姉妹都市提携10周年記念式典参加
- 11/1 金沢市早朝ソフトボール連盟と円光大学校女子ソフトボール部とのソフトボール親善試合開会式参加・親善戦、全州市発、金浦空港より羽田空港着

2012年8月23日から26日にかけて、金沢市代表団が、欧州の姉妹都市であるベルギー・ゲント市とフランス・ナンシー市を訪問しました。

8月23日～25日 ゲント市訪問

ゲント市では、ソーシャル・メディア施策や世界でも評価の高い夜間景観施策などについてレクチャーを受け、先進的な取り組みを学びました。また、両市の交流促進に寄与した功績を称え、テルモント市長へ特別名誉市民証(章)を贈呈するとともに、両市長で友好交流に関する意思確認書へ署名し、今後も交流を深めることを確認したほか、両市の情報発信の架け橋として金沢やゲントにゆかりのある学生を金沢・ゲント留学生交流員に任命しました。セーヘルズ助役や陸上クラブ関係者との懇談では、2015年金沢マラソンPRの互いの協力を誓い合いました。



意思確認書への署名 (ゲント市)



提携40周年記念合意書締結に向けた覚書への署名 (ナンシー市)



金沢マラソンPR (ゲント市)



金沢・ゲント留学生交流員任命 (ゲント市)

8月25日～26日 ナンシー市訪問

ナンシー市では、ナンシー市民から温かい歓迎を受ける中でレセプションが開かれ、山野市長は集まった市民に東日本大震災で多くの支援をくださったことへの感謝の意を伝えました。その後、ベルレモン助役と姉妹都市提携40周年記念合意書締結に向けた覚書に署名し、交流発展のため、協力していくことを確認しました。また、大ナンシー・ハーフマラソン主催者チエボ氏とも懇談し、金沢マラソンPRにおける相互協力を約束しました。



金沢マラソンPR (ナンシー市)

第3回日仏自治体交流会議 参加



日本側推進委員長としてあいさつする山野市長

2012年8月28日から30日まで、フランス・シャルトル市にて第3回日仏自治体交流会議が開催されました。金沢市長は、日本側推進委員長として会議に携わり、日本側15自治体、仏側27自治体、計42自治体の参加を得ました。金沢市は、「文化の革新」をテーマとした分科会で発表を行い、今後の日仏交流における提案が行われるなど、活発な議論が繰り広げられました。

今回の会議では、初の試みとして、模範的な交流を実践している日仏自治体を表彰する「日仏交流優良賞」が設けられ、姉妹都市関係にある仙台市とレンヌ市へ贈られたほか、今回初めて市民対話集會も行われ、シャルトル市民と自治体首長等との意見交換の場ももたれました。

次回第4回会議は2014年に高松市で開催されることが決議されました。
 会議日程の前後には、コンピエーニュやパリでの関連プログラムも設けられました。

- 〔日程〕 8月27日 視察プログラム (コンピエーニュ)
 8月28日 歓迎レセプション (シャルトル)
 8月29日 開会式、全体会、分科会 (シャルトル)
 8月30日 分科会総括、日仏交流優良賞授与、閉会式、市民対話集會 (シャルトル)
 8月31日 視察プログラム (パリ)

〔参加自治体〕

日本側：金沢市、仙台市、松島町、白河市、富岡市、新潟市、甲府市、甲州市、佐久市、岐阜県、兵庫県、朝来市、桜井市、高松市、佐賀市 (15自治体)

仏側：シャルトル、オータン、バス・ノルマンディ州、バルビゾン、ショワジ・オ・バック、ナント、コンピエーニュ、アヴェロン県、オー・ド・セーヌ県、セーヌ・エ・マルヌ県、ヴァル・ド・ワーズ県、ノール県、クサク・フォルメドック、ディーニュ・レ・バン、イエール、グルノーブル、イッシー・レ・ムリノー、マラコフ、マルセイユ、ナンシー、パリ、ペイ・デクス、レンヌ、シュルスヌ、タラスコン、トゥル (Toul, ムルト・エ・モゼル県)、トゥール (Tours, アンドル・エ・ロワール県) (27自治体)



参加者集合写真



「文化の革新」をテーマとした分科会での発表

ようこそ、百万石まつりへ ～バッファロー市姉妹都市提携50周年、全州市姉妹都市提携10周年～

2012年6月1日から3日にかけての百万石まつり期間中、姉妹都市提携50周年となるバッファロー市の道井孝子バッファロー・金沢姉妹都市委員会会長をはじめ、提携10周年を迎えた全州市の宋河珍市長のほか、駐日フランス大使のクリスチャン・マセ大使、韓国・禮山郡月進会代表団らをお迎えすることができました。

また、6月3日に催された市民歓迎会では、バッファロー市と全州市の交流にゆかりのある多くの金沢市民が集まり、これまで歩んできた交流の歴史を振り返りながら和やかに歓談しました。滞在期間中、各訪問団は金沢の魅力に大いに触れながら市民との友好交流を深めました。主な訪問団の日程・概要は、以下のとおりです。

○バッファロー市友好親善団（50周年記念）

2012年5月31日から6月4日までの間、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長をはじめ、オルムステッド公園協会会長、ダーウィン・マーティンハウス協会会長などで構成されるバッファロー市友好親善団が、姉妹都市提携50周年を記念して金沢に滞在しました。滞在中には、道井会長の長年の姉妹都市交流への貢献を称えて、山野市長から功労感謝状が贈呈されたほか、寺島蔵人邸跡では提携50周年を記念して尺八演奏会が開催され、市民約30名が集まりました。また、今年4月にバッファローを訪問した金沢能楽会の敷俊彦氏宅を訪れ、能の披露などによる歓待を受けました。



功労感謝状贈呈の様子



敷俊彦氏らとの記念写真

○全州市代表団・全州市議会代表団（10周年記念）

2012年6月3日、金沢市文化ホールにて「金沢市・全州市姉妹都市提携10周年記念姉妹都市交流及び協力に関する合意書調印式・特別名誉市民証贈呈式」が開催されました。この式典には、宋河珍・全州市長をはじめとする全州市代表団8名、朴賢圭・全州市議会運営委員長をはじめとする全州市議会代表団10名が出席したほか、金沢市からは山野市長、金沢市議会議員ほか、金沢市内の全州市との交流がある団体が参加し盛大に執り行われました。



合意書を交わした山野市長と宋河珍全州市長



宋市長に特別名誉市民証贈呈

式典では、宋河珍・全州市長に特別名誉市民証が贈呈されました。また、式典後、宋市長による特別講演がありました。

全州市代表団は6月2日から4日まで、全州市議会代表団は6月1日から4日まで金沢市に滞在し、百万石まつりを視察するとともに、山野市長を表敬訪問しました。

イルクーツク市姉妹都市提携45年記念代表団来沢



提携45年合意書調印後記念撮影

2012年5月14日から17日まで、イルクーツク市代表団を迎え、両市長による「友好交流に関する合意書」調印式、イルクーツク市の画家による33の絵画が、高さ約2メートル、幅約8メートルの一枚のパネル作品のように作成され、シベリアの様子を紹介した「私シベリア」展（会期：5/16-7/10/於：エントランスホール）及び交流会などの提携45周年記念事業を実施しました。このほか、市内視察等も行った後、帰国しました。

〔提携45周年代表団〕9名

- ヴィクトル・コンドラシヨフ（市長）
- アンドレイ・ラビーギン（議長）
- マリア・コンドラシヨフ（市長夫人）
- アルбина・ラビギナ（議長夫人）
- オルガ・セリョードキナ（国際部長）
- アレクセイ・エヴラドフ（広告課長）
- ナジェジダ・ユルキナ（国際課長）
- エレナ・ヤロスラヴツェワ（アート担当）
- ドミトリー・エルモントヴチ（アート担当）

〔主な日程〕

- 5/14 来沢
- 5/15 視察（兼六園、ひがし茶屋街、リサイクルプラザ等）
- 5/16 視察（21世紀美術館、能楽美術館）、市長表敬、議長表敬、「提携45周年記念事業」
- 5/17 視察（第三工区再開発現場、金沢駅、姉妹都市公園）、離沢



「私のシベリア」除幕式（於：市役所1Fエントランスホール）



金沢市長表敬訪問

バッファロー 【アメリカ合衆国】



バッファロー・フィルハーモニック交響楽団との共演

提携 1962年（昭和37年） **人口** 26万人
面積 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

能とオーケストラとの共演が実現！

金沢能楽会の有志で構成される能楽師一行22名が、2012年4月15日から18日までの間、バッファロー市を訪問し、ニューヨーク州立大学バッファロー校において、能と現地オーケストラとの共演等を披露しました。また市内の日本庭園で開催された姉妹都市提携50周年記念式典に参加し、団長の藪俊彦氏が山野市長の祝辞を代読しました。また一行は、バッファロー訪問に併せて、全米桜祭り開催中のワシントンも訪問し、日本語などを学ぶ高校生を対象に能公演等を開催しました。

JAZZ-21 2度目のバッファロー訪問

2012年4月30日から5月5日までの間、金沢市民芸術村のジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21の22名（団員19名、引率3名）が、2006年のバッファロー市訪問以来2度目となるバッファロー市訪問を果たしました。今回の訪問は、2005年以来続くハンブルグ高校ジャズバンドとの交流の一環で実施するもので、一行はホームステイをしながら、学校訪問や交流演奏会等で交流を行うとともに、バッファロー市役所でコンサートを行うなど、音楽を通じた両市の友好交流の輪を広げました。バッファロー訪問に併せて、4月27日から30日の間、ニューヨークも訪問し、現地ジュニア・ジャズバンドとの合同演奏会等を実施しました。



バッファロー市役所での演奏会の様子

バレエ交流深まる！

2012年5月15日から19日の間、バッファロー市内のバレエ学校ネグリア・バレエのセルジオ・ネグリア氏が金沢を訪問し、市内の中山芽バレエスタジオにおいてバレエセミナーを実施しました。ネグリア氏の来沢は、2007年の姉妹都市提携45周年代表団の一員としての来沢以来、2度目となります。また、2012年9月からは中山芽バレエスタジオの生徒が、バッファロー市内の高校に留学しながら、ネグリア・バレエでのバレエレッスンに励んでいます。

美大の交流協定締結

金沢美大とバッファロー・ステート・カレッジでは交流事業として、2008年度から教職員の相互交流を行っていましたが、2012年7月10日、正式に交流協定が締結されました。交流協定締結を契機として、さらなる芸術交流が進展することが期待されます。

Topics

日米桜寄贈百周年 記念植樹式

2012年は、日本から米国に桜が寄贈されてから100周年にあたることから、これを記念する「日米桜寄贈100周年」事業（外務省主催）として「全米桜植樹プロジェクト」が実施されました。このプロジェクトにより、バッファロー市内の日本庭園にも26本の桜が寄贈され、4月27日には、オルムステッド公園協会と総領事館の共催により記念植樹式が開催されました。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



「日本人移民の日」署名、批准の様子

提携 1967年（昭和42年） **人口** 141万人
面積 497km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウシヨ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

日本人移民の日制定

ポルト・アレグレ市があるリオ・グランデ・ド・スル州への最初の日本人移住を記念して、8月18日を「日本人移民の日」に定める法案が、2013年1月8日にジョゼ・フォートウナティ市長によって批准されました。批准に併せて、地元日系人組織の南伯日本商工会議所、南日伯援護協会、ポルト・アレグレ文化協会などの代表者が集い、この法案の批准式を祝いました。

2006年8月には、同州への日本人移住50周年を記念して、金沢市からも代表団を派遣しており、今回の日本人移民の日制定を契機と

して、日本人移民の歴史が、同市の歴史の一部としてますます定着することを期待しています。

第1回日本祭り開催

ポルト・アレグレ市では初めてとなる「日本祭り」が2012年8月18日、19日の両日、市内の州警察学校敷地内で行われ、日本文化に興味を持つ1万人以上が集まりました。同祭は市内の日系組織であるポルト・アレグレ文化協会と南日伯援護協会が共催で開催したもので、会場では折り紙や生け花、茶道、各種武道、書道などの日本文化が紹介されました。

イルクーツク【ロシア連邦】



表敬訪問後の記念撮影（中学生親善団）

提携 1967年（昭和42年） **人口** 60万人

面積 277km²

バイカル湖（世界遺産）の南にある中部シベリア最大の都市で、イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

ようこそ！中学生親善団の皆さん!!

2012年7月6日から12日まで、ペレグドワ ワレンチナ教育長を団長とする中学生親善団18名が来沢しました。一行は、市内2校の中学校訪問し、清泉中学校では校庭での縁日体験や部活動見学等、兼六中学校では給食体験やリーダー会との意見交換会等を通じて生徒らとの親睦を深めました。一泊二日のホームステイでは、ホストファミリーの一員として、楽しい一時を過ごしました。さらに交流会などを通じて多くの方々との触れ合うとともに、市内視察や日本文化体験なども行い、たくさんの思い出を持ってイルクーツク市へ戻りました。

姉妹都市提携45周年記念少年サッカー団受入



交流試合後の選手交流

2012年8月22日から26日まで、ゴヴォルヒンセルゲイ市議会議員を団長とする少年サッカー団12名（団長、通訳、第7スポーツ学校から校

長・コーチ、選手8名）が来沢しました。これは、2012年、「本田圭佑クライフコート」が正式オープンされること、本田選手がロシアのチームで活躍していることから、提携45周年の記念事業としてロシアの姉妹都市であるイルクーツク市と同コートを利用した交流を行うことにしたものです。同団は、8月25日、中村わかばとサッカースポーツ少年団、アカシアサッカー少年団、テイヘンズFC金沢U-12と4チームによる総当たりリーグ戦形式の交流試合を行い全勝しました。また、これに先立ち、市内のチームのトレーニ

ング会場へ赴き練習や市内見学なども行いました。

姉妹都市提携45周年記念ジャズバンド団受入

2012年9月12日から18日まで、パニコアレクサンドル市議会議員を団長とするジャズバンド団7名（団長、通訳、ジャズバンド・Dr.Jazz 5名）が提携45



尾山神社での公演の様子

周年記念事業として、金沢ジャズストリート2012に特別出演するため来沢し、滞在中に2回（15日午後・香林坊ラモダ3階、17日夕方・尾山神社境内）公演を披露しました。

絵画展「日本の生徒の目を通してのイルクーツク」開催

2012年11月16日から12月1日まで、イルクーツク市歴史博物館付属V.S.ローガリ記念展示センターにおいて、同市市民に金沢市の生徒の作品を紹介、友好関係の強化を図ることなどを目的とした、提携45周年記念絵画展「日本の生徒の目を通してのイルクーツク」が開催されました。この絵画展のため、7月にイルクーツク市中学生親善団が学校訪問を行った兼六中学校と清泉中学校の美術部の協力を受け、28点の絵画をイルクーツク市へ送りました。

Topics

石川県ロシア協会が交流写真展を開催

2012年10月23日から28日にかけて、石川県ロシア協会金沢支部（金沢市ロシア協会）は、金沢国際交流財団に於いて、同協会が毎年設定している日口友好親善月間「フェスタ・バイカル」の枠組みのなかで交流写真展を開催しました。

ゲント 【ベルギー王国】



日本・ベルギー協会の金沢バスツアー参加者一行

提携 1971年（昭和46年） **人口** 25万人

面積 158km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鋳などの産業が発達した。聖パーフ大聖堂や1816年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やペギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

ゲント市在住芸術家が金沢の町屋で創作活動

ゲント市在住の芸術家児玉エミ氏が、2012年7月5日から9月17日まで、寺町の町屋で暮らしながら作品制作に取り組みました。滞在中は作品の制作だけでなく、留学生との交流事業への参加や市内の文化施設訪問などを通じて、金沢の文化への理解を深めました。9月8日には、市内のアートギャラリー、Kapóで作品の発表会が行われ、多くの学生や芸術家などが集まりました。この事業は、金沢の建築家らでつくる団体CAAKの芸術家招へいプログラムによって実施されたものです。



自身の作品を紹介する児玉エミ氏

都市ネットワークの枠組みでの音楽を通じた交流の可能性について検討しました。また併せて、14日には金沢JAZZ STREETのレセプションに参加して、関係者とも懇談しました。

美大の学生交流

金沢美大とゲント王立美術アカデミーでは、平成20年に金沢市とゲント市が学生の短期相互派遣交流の協定を調印し、二校間協定に基づく学生の交流を行っています。これまでにゲント王立美術アカデミーからは4名を受け入れ、美大からは8名の派遣を行っています。

今年度は、金沢美大からは、武田雄介さん（美術工芸専攻博士2年・派遣期間：1/21～4/2）と南有里子さん（芸術学専攻修士1年・派遣期間：9/28～12/30）が約3ヶ月間、ゲント王立美術アカデミーで学びました。ゲント王立美術アカデミーからは、リサ・スピリアルトさんが、2012年10月6日から11月2日までの間、金沢美大で学びました。

和太鼓で市民交流！



金沢市民芸術村での和太鼓交流の様子

2012年8月13日から16日まで、ゲント市で活動する和太鼓グループ「タワムレ」の5名が、金沢を訪問しました。14日には、金沢市民芸術村で市内の和太鼓グループ「柿木太鼓」と和太鼓を通じて友好を深めました。また、15日の市長表敬訪問では、団長ミレイ・メスダフ氏からゲント市のダニエル・テルモント市長の親書が手交されました。

ゲント市芸術大学音楽部長受入

ゲント市のゲント芸術大学音楽部長のマルテン・ウェイレル教授が、2012年9月13日から15日まで、金沢を訪問しました。滞在中は、金沢市民芸術村のJAZZ-21関係者と懇談し、ゲント市とのユネスコ創造

Topics

駐日ベルギー大使及び

日本・ベルギー協会一行が金沢の伝統工芸を体験！

2012年10月5日、リュック・リーバウト駐日ベルギー大使と日本・ベルギー協会会員ら40名が、日本・ベルギー協会主催の金沢でのバスツアーに参加し、金沢の文化・伝統に理解を深めました。滞在中

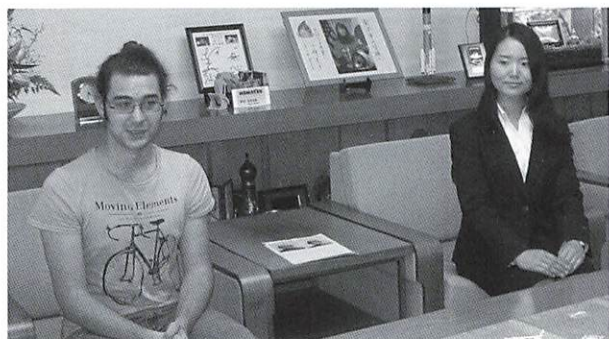


大使夫妻による大樋焼作り体験の様子

一行は、金沢卯辰山工芸工房で藍染めを体験し、出来上がった作品に参加者たちは歓声を上げました。また大樋美術館では、文化勲章受章者の十代大樋長左衛門氏の案内で館内を見学するとともに、リュック・リーバウト大使とカリヌ・ベルクラエ大使夫人は十代大樋長左衛門氏の指導のもと大樋焼作りを体験しました。

出来上がった大樋焼は、11月20日に東京で開催された日本・ベルギー協会2012年度年次総会・会員親睦会において大使夫妻に贈呈、披露されました。

ナンシー 【フランス共和国】



ナンシー交換留学生ピションさん(左)と布川さん(右)

提携 1973年(昭和48年)

人口 10万人 **面積** 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。近郊を含め、学生数4万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

22人目の交換留学生

金沢市から昨年派遣された布川恵理さん(金沢美術工芸大学)が帰国し、22人目の留学生として、奇田茜さん(金沢美術工芸大学)が2012年10月よりナンシー国立高等美術学校で留学生生活を始めました。また、金沢美術工芸大学で留学生生活を終えたポール・オマージュさん(ナンシー国立高等美術学校)が9月に帰国し、2012年10月から、22人目の留学生としてリュック・ピションさん(ナンシー国立高等美術学校)が金沢美術工芸大学で学んでいます。

震災支援金の送金

ナンシー市では、昨年に引き続き、東日本大震災の復興支援のため、ノートルダム・サン＝シジスベール高校でのチャリティ・イベントや市民らの募金活動等が行われ、集められた支援金(2,620ユーロ(308,819円))が、金沢市をとおして仙台市へ送られました。昨年分も併せ、3回にわたってナンシーから送られた支援合計総額は、60,620ユーロ(6,814,745円)になりました。

ナンシーで集中豪雨被害

2012年5月21日から22日にかけての深夜に記録的集中豪雨が発生し、主にナンシー広域東部で浸水などの被害がありました。金沢市長からナンシー市長へお見舞いの書簡を送付しました。

駐日フランス大使来訪

2012年6月1日から2日まで、クリスチャン・マゼ駐日フランス大使が来沢し、金沢市役所を表敬訪問して山野市長と懇談したほか、フランスとの関わりの深

い市内の団体や大学を訪問し、関係者と友好を深めました。また滞在中に開催された百万石まつりでの加賀友禅燈ろう流しや百万石行列を見学したほか、市内の視察などを通じて金沢の伝統文化に大いに触れました。



表敬訪問後の記念撮影

美大の交流協定締結

金沢美術工芸大学とナンシー国立高等美術学校では、これまで1993年から教員の交換、2008年からは毎年金沢からナンシーへ学生2名を派遣していましたが、2012年6月19日、正式に交流協定が締結されました。今回の協定により、相互の学生交換交流が今後実現されることとなります。

Topics

高校生スカイプ交流 2回目

2013年2月7日、ナンシー市内のノートルダム・サン＝シジスベール高校と石川工業高等専門学校の英語によるスカイプ交流が行われ、互いの文化への理解を深めました。両校のスカイプ交流は、2011年に引き続き2回目になります。



スカイプ交流

蘇州【中華人民共和国】



姑蘇文化 源遠流長 田中 中学生 傳承弘揚
交流会に参加したメンバーで記念撮影

提携 1981年(昭和56年) **人口** 647万人 **面積** 8,488km²

約2500年前、「吳」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出しめざましい経済発展を遂げている。

第4回金沢市中学生親善団を蘇州市に派遣

2012年7月26日から30日まで坂井修二・金沢市環境局長を代表とする金沢市中学生親善団19名を蘇州市に派遣しました。

滞在中、中学生団員は蘇州市田家炳実験初級中学の生徒の家庭にホームステイをし、中国の家庭生活を体験するとともに、ホストファミリーと一緒に蘇州観光を楽しみました。

また、一行は、蘇州市田家炳実験初級中学を訪問し、授業体験や交流会を行いました。交流会では、日

中両国の歌を中国の中学生に披露するとともに、日本の遊びを紹介し、交流を楽しみました。

江川元市長宛ての蘇州市長からの弔電

在職時、蘇州市の姉妹都市提携に調印し、蘇州市との姉妹都市交流発展に尽力された江川昇・元金沢市長が2013年1月20日に満103歳でご逝去されました。

これを受けて、周乃翔・蘇州市長より、心こもる弔電を江川元市長のご遺族宛てに送付いただきました。

大連【中華人民共和国】



オープニングに参加する金沢市立工業高校チアリーダー部

提携 2006年(平成18年) **人口** 586万人 **面積** 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長1,900kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、「ロマンの都」「北方の真珠」とも称えられるファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指す今日の大連市は、北東アジアにおける重要な国際航空センターと国際都市の建設に邁進している。

金沢市立工業高校チアリーダー部が大連アートフェスティバルに参加

2012年9月9日に大連市宏済大舞台で開催された「大連市第二回国際友好都市アートフェスティバル」に、金沢市立工業高等学校チアリーダー部員8名が参加し、元気いっぱいのパフォーマンスを披露しました。

本フェスティバルは、大連市で去年より開催されているもので、世界各国より13~24歳の青少年が一堂に集まり、文化芸能の発表、学校交流などを通じて交流を深めるものです。今回参加したのは金沢市以外に、北九州市・福岡県・青森県・愛媛県(日本)、大連市(中国)、釜山市・仁川市(韓国)、ル・アーブル市(フランス)、ロストック市(ドイツ)、サン・レオパルド市(ブラジル)、ノヴォシビルスク市(ロシ

ア)の7か国12団体でした。また、観客は、大連市政府幹部、出演者、大連市内の大学の留学生など約300人でした。

9月6日から10日までの大連市滞在中に、公演リハーサルのほか、大連大学を訪問して日本語を専攻する生徒と交流したり、星海湾広場、ファッション祭りなどを視察したりしました。

また、本フェスティバルに参加した他国・他都市の同世代の青少年らとの交流を楽しみました。

Topics

金沢市贈呈図書が大連工業大学に到着

金沢市からの贈呈図書502冊(うち送付分492冊)

が、2012年12月に大連工業大学に到着しました。本図書は、金沢市立図書館から寄贈を受けたり、本市で購入するなどして集めたものです。

全州 【大韓民国】



「韓紙工芸・伝統名品展」開会式写真

提携 2002年（平成14年） **人口** 65万人
面積 206km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都。現在は全羅北道の道都である。李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門（ブンナムムン）、韓屋村などの歴史遺産や韓紙（ハンジ）、韓食（ハンシク）、韓（ハン）ソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されており、「もっとも韓国的な都市」と評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、持続可能な成長のための21世紀新産業都市への変貌を図っている。

全州市姉妹都市提携10周年贈呈物・ことじ灯籠設置団

2012年4月11日から15日の間、野々市芳朗・(有)野々造園代表取締役、山名洋一・山名造園(株)代表取締役、高野秀幸・高野造園代表取締役ら金沢職人大



ことじ灯籠設置作業をする訪問団員

学校講師3名及び金沢市職員1名が全州市を訪問し、現地の業者と協力してことじ灯籠を設置しました。設置場所は、全州ワールドカップ競技場前広場で、市民が多く集まる憩いの場であり、近くには2002年に山出前金沢市長が手植えた梅の木がある絶好の場所です。

なお、設置されたことじ灯籠は、金沢職人大学校で制作されたもので、大きさは兼六園にあるものとほぼ同じ高さ2.5メートル、幅1.2メートルです。今後は両市の友好の象徴として末永く愛されることを期待しています。

また、一行は、全州市滞在中に宋河珍・全州市長を表敬訪問しました。

世界創造都市フォーラム2012 in 金沢に金信（キム・シン）・全州市文化経済局長参加

2012年10月11日に金沢21世紀美術館「シアター-21」で開催された、「世界創造都市フォーラム2012 in 金沢」に、金信・全州市文化経済局長が参加し、2012年5月にユネスコ創造都市ネットワークに加盟した全州

市の食文化について講演しました。これに参加するため、10月10日から12日まで金沢市に滞在しました。



世界創造都市フォーラム2012 in 金沢にて発表する金局長

第11回韓国全州市韓紙工芸・伝統名品展を開催

2012年10月23日から28日に、金沢21世紀美術館地下1階「市民ギャラリーB」にて、「第11回韓国全州市韓紙工芸・伝統名品展」を開催し、全州市からの韓紙工芸品ほか全州名品約101点を展示しました。

この展示会は、2002年の姉妹都市提携後、全州市の（社）韓紙文化振興院との間で毎年相互に双方の都市で開催されているもので、今年11回目になります。

本展示会の開会式に参加するため、李相七・（社）韓紙文化振興院理事長を団長とする（社）韓紙文化振興院訪問団13名が10月22日から24日まで本市に滞在し、山野之義・金沢市長を表敬訪問しました。

Topics

全州市役所職員仕事始め式に金沢市長メッセージ映像放映

2013年1月2日、全州市役所内講堂で全州市議会議員、全州市職員参加のもと実施された仕事始め式において、山野市長のメッセージ映像が放映されました。メッセージで、姉妹都市提携10周年記念事業を盛大に開催できたことの感謝の意を表するとともに金沢マラソンに向けスポーツ交流などの交流関係が強まることへの期待が述べられました。

金沢市以外にも、全州市の姉妹都市である米国・サンディエゴ市長、中国・蘇州市長からもメッセージが寄せられました。

かなざわしまいとしりゅうがくせいこうりゅういんじぎょう
金沢姉妹都市留学生交流員事業
 ~留学生が金沢の「いいね!」を世界に発信~

1. 事業の概要

姉妹・友好都市（国）出身の留学生を金沢姉妹都市留学生交流員として任命し、年間を通じた市民との交流事業や市施設での文化体験講座等を通じて金沢に対する愛着・知識を深めてもらいました。また交流員が自身で利用するソーシャル・メディアを通じて姉妹都市をはじめとした海外へ向けて金沢の魅力を発信しました。



任命状交付式後の記念写真

7月29日（日）

大野の祭と醤油蔵（10名参加）



氷室まんじゅう講義の様子（6/24）



大野での祭り参加の様子（7/29）

「交流する」

8月18日（土）

地元住民との盆踊り交流（7名参加）

10月7日（日） KOGEI de 異文化交流（14名参加）

11月26日（日）

金沢市青年団イベントに参加（7名参加）

12月15日（土）

加賀野菜 de 姉妹都市クッキング（19名参加）など

2. 金沢姉妹都市留学生交流員について

(1) 任期

2012年5月から2013年3月末まで

(2) 交流員内訳

合計51名（※延べ登録人数）

○大学別内訳

大学名	人数	男	女
金沢星稜大学	21	5	16
金沢大学	17	3	14
金沢美術工芸大学	2	2	0
北陸大学	11	1	10
合計	51	11	40



日本人学生との工芸交流の様子（10/7）



加賀野菜de姉妹都市クッキングでの記念写真（12/15）

○国籍別内訳

大学名	人数	男	女
中国	29	1	28
韓国	9	2	7
ロシア	8	2	6
ベルギー	3	2	1
フランス	2	2	0
合計	51	9	42

※各人数は延べ登録人数（任期途中での帰国者含む）

(3) 金沢の魅力発信【随時】

各留学生交流員が自身で利用するソーシャル・メディアを通じて金沢の魅力を各自の母国語で発信

(4) 姉妹都市交流事業への協力

姉妹都市関係者との簡単な通訳・翻訳など
 ロシア・イルクーツク市からの代表団など来沢時に通訳として協力（計4回、延べ6名）
 韓国・全州市からの代表団など来沢時に通訳として協力（計3回、延べ18名）
 交流サポーター会議へのゲスト参加（計2回、延べ2名）など

3. 金沢姉妹都市留学生交流員の活動内容

(1) 任命状の交付

5月26日（土） 市長から任命状交付

(2) 金沢についての講座開催

「知る」

5月26日（土）

文化施設めぐり（13名参加）

6月3日（日）

尺八体験・演奏会（10名参加）

6月24日（日）

氷室まんじゅう歴史めぐり（8名参加）

4. 任期終了後の活動例

本年8月の市長訪欧時、金沢姉妹都市留学生交流員としての活動後、留学期間を終えてベルギー・アントワープ市（姉妹都市）へ帰国した留学生などで構成される「金沢・アントワープ留学生交流員」を試みとして組織しました。同交流員には、金沢の魅力について現地でPRしてもらうとともに、現地での情報を金沢に伝えてもらうことで、両市の交流の新たな担い手として活躍してもらうことを目指します。

■「国際交流まつり2012」開催

昨年秋に20回目を迎えた「国際交流まつり2012」を9月29日（土）、30日（日）に金沢市役所庁舎前広場にて開催いたしました。約40団体の市内民間国際交流団体と当財団から成る運営委員会が主催し、2日間で約10,000人の方にご来場いただきました。

今回は金沢ボランティア大学校の受講生、北陸学院大学の学生、金沢大学のインターンの留学生、財団ボランティアの方々にも参加、参画いただきました。

また「国際交流まつり20回記念特別ステージ」と題し、近年金沢市と交流が盛んな台湾から『台湾桃園縣全民舞蹈推廣協會』のみなさんを招き、歌・踊りを交えた会場と一体となって楽しむステージが繰り上げられました。

今年の国際交流まつり2013は、2013年10月19日（土）、20日（日）石川県政記念しいのき迎賓館広坂緑地・石の広場に会場を移し、実施予定です。



国際交流まつり20回記念特別ステージの様子

■外国人市民のための防災ハンドブック発行

2011年3月11日の東日本大震災以降、金沢市に暮らす外国人市民のみなさんにも、災害時に迅速に情報収集や行動ができるよう、どの言語の人にとっても分かりやすいやさしい日本語をベースにした「外国人市民のための防災ハンドブック」をボランティアのみなさんと作成しました。（英語、中国語、韓国語、ポルトガル語の対訳付）

日頃外国人市民と接することが多い方や、外国人住民が多く暮らす地域のみなさん、ぜひこのガイドブックをご活用ください。必要な方は、当財団までご連絡ください。また同内容を当財団のホームページにも掲載しています。

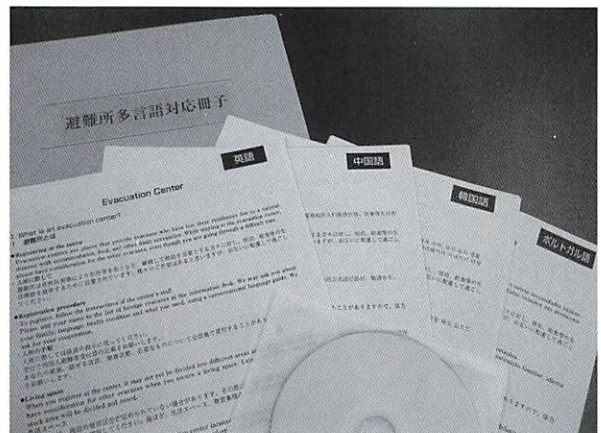
（TEL 076-220-2522 URL <http://www2.kief.jp>）



外国人市民のための防災ハンドブック

「避難所多言語対応冊子」作成

金沢市では人口の約1%が外国人住民です。さらに交流の拡大に伴い、外国人観光客等も多くなっています。災害等が発生し避難所が開設された場合、日本語の不自由な外国からの方々が進むことも考えられます。そうした方々との避難所におけるコミュニケーションを支援することを目的として、今年度、金沢市では、日本語と、英語、中国語（簡体字）、韓国語、ポルトガル語をそれぞれ併記した「避難所多言語対応冊子」を作成しました。関係団体とも協力し、避難所の運営等に活かしてもらう予定です。



避難所多言語対応冊子

国際交流ダイアリー

4~6月

- 4月4日 国際ロータリー第7010地区(カナダ北東部) GSE研修生 来訪
- 4月9日 中国蘇州市工業園区老年大学交流団 来訪
- 4月9日 ナンシー・ロレーヌ仏日協会訪問団 来訪
- 5月11日 金沢出身青年海外協力隊員2名がベナン・モンゴルからの帰国挨拶
- 5月25日 駐日ハンガリー大使 来訪
- 5月28日 中国蘇州市総工会代表団 来訪
- 6月1日 韓国禮山郡月進会 来訪
- 6月1日 駐日フランス大使 来訪
- 6月11日 韓国全州工業高等学校代表団 来訪
- 6月21日 金沢出身青年海外協力隊員1名がガーナへの出発挨拶
- 6月26日 中国大連工業大学訪問団 来訪

7~9月

- 7月6日 韓国CBS少年少女合唱団 来訪
- 7月30日 金沢市職員1名を中国・昆明市に派遣
(~8月1日)
「第14回日中韓3か国地方政府交流会議」に参加
- 8月6日 金沢日仏協会ナンシー市訪問使節団 出発挨拶
- 8月8日 韓国放送公社(KBS)全州放送総局長 来訪
- 8月9日 江蘇省経済貿易職業技術学院 来訪
- 8月29日 ジャパンテントOG ダニエラ・ニコロヴァ氏(駐日ブルガリア共和国大使館三等書記官) 来訪
- 9月23日 韓国全州市・オンヌリ舞踊団が「金沢バレー祭」に参加
- 9月27日 北陸ベルギー友好協会гент市訪問団 出発挨拶

10~12月

- 10月10日 フィンランド・ハミナ市一行 来訪
- 10月17日 金沢市早朝ソフトボール連盟第13回韓国全州ソフトボール交流訪問団 出発挨拶

- 10月17日 中国蘇州市親善訪問団 出発挨拶
- 10月21日 金沢市職員1名を韓国江陵市に派遣
(~24日)
「2012江陵ICCN世界無形文化祝典」にて発表
- 10月22日 金沢卯辰山工芸工房研修生を韓国江陵市に派遣 (~29日)
「2012江陵ICCN世界無形文化祝典」にて工芸体験ブースを運営
- 10月26日 金沢市柔道協会韓国全州市訪問
(~28日)
韓国江陵市長団 来訪
- 11月5日 韓国全北国立大学医学部訪問団 来訪
- 11月6日 第3回韓中日三姉妹都市(全州・蘇州・金沢) 囲碁親善交流大会金沢市訪問団 出発挨拶
- 11月6日 中国蘇州市親善訪問団 帰国挨拶
- 11月8日 国際交流員による加賀野菜PR
- 11月9日 韓国・尹奉吉記念事業会訪問団 来訪
- 11月16日 第3回韓中日三姉妹都市(全州・蘇州・金沢) 囲碁親善交流大会金沢市訪問団 帰国挨拶
- 11月19日 韓国文化財庁訪問団 来訪
- 12月5日 金沢市英語教育指導者海外派遣研修「大連市教育研修」帰国報告
- 11月20日 金沢出身青年海外協力隊員1名がエクアドルからの帰国挨拶
- 12月20日 金沢出身青年海外協力隊員3名がケニア・ソロモン・ザンビアへの出発挨拶
- 12月21日 韓国中央大学校音楽大学オーケストラ金沢公演団 来訪
- 1~3月
- 1月21日 中国大連職業技術学院訪問団 来訪
- 1月23日 韓国ソウル特別市城北区視察団 来訪
- 2月18日 韓国文化財庁訪問団 来訪
- 2月27日 金沢出身青年海外協力隊員1名がジンバブエからの帰国挨拶
- 3月5日 在大阪・神戸オランダ総領事 来訪
- 3月8日 フィンランド・ハミナ市一行 来訪
- 3月22日 「第15回日本太鼓ジュニアコンクール」ブラジル・台湾参加団 来訪

● 国際交流員の国際理解講座 ●

6月8日(金)

「映画から発見! ~ナチス占領下のフランス~」

対象: 一般 場所: KIEFひろば

担当CIR: ガネム・モハメド

7月7日(土)・8日(日)

「シンナゲ学ぼう! はじめてのハンゲル」

対象: 一般 場所: KIEFひろば

担当CIR: イ・ユリン

8月4日(土)

「作ってみよう! 中国家庭料理」

対象: 一般 場所: 金沢市彦三公民館 (料理実習室)

担当CIR: チョウ・シン

10月13日(土)・14日(日)

「スキルアップ英会話~初級~」

対象: 一般 場所: KIEFひろば

担当CIR: ロバート・ワーサーム

11月17日(土)

「テコンドー体験教室 アンニョンハセヨ! テコンドー」

対象: 一般 場所: 金沢美術工芸大学・体育館

担当CIR: イ・ユリン

12月8日(土)

「マリスさんのベルギー紹介講座 Hallo! Halli! ベルギー」

場所: KIEFひろば 担当CIR: マリス・ホルヴェート

12月16日(日)

「メリークリスマス! ~フランスのクロンを作ろう~」

場所: KIEFひろば 担当CIR: ジュリー・ヴァルク

2月23日(土)

「ニーハオ! 中国語講座 (入門)」

場所: KIEFひろば 担当CIR: チョウ・シン

3月17日(日)

「マリスとジュリーのイースターパーティー!!!」

場所: KIEFひろば

担当CIR: マリス・ホルヴェート, ジュリー・ヴァルク

Topics

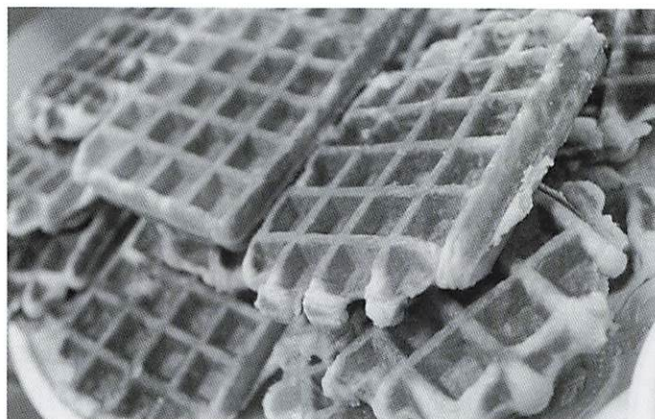
国際交流員が加賀野菜をPR!

国際交流員が、各国の文化紹介の一環として実施する市民向け各国料理講座や公民館などが主催する料理講座において、加賀野菜を材料として使用した母国の料理を考案し、広く市民に加賀野菜の魅力を発信する活動を始めました。加賀野菜のPR活動に先立ち、11月8日には加賀野菜の一つである源助だいこんの生産農家を訪れ、栽培・収穫方法などを学びました。また金沢市農業センターも訪れ、加賀野菜についての知識を深めました。

また12月15日には、「金沢姉妹都市留学生交流員」を対象とした「加賀野菜de姉妹都市クッキング」講座において、国際交流員5名は、加賀れんこんを使ったハンバーガーやさつまいもを使ったワッフルなど、母国の料理を披露しました。



料理講座の様子



さつまいもワッフル (ベルギー)

国際交流員の一年



ロバート・ワーサーム (アメリカ)

皆さん、こんにちは！3年目のアメリカの国際交流員のロバート・ワーサームです。金沢に来てからあっという間に2年間半が経ちました。本当に時のたつのは早いものですね！北陸新幹線の開業に先行する英訳事業やパッファロー市との姉妹都市提携の50周年事業など、多くを達成できた一年でした。

2012年4月の初めに、例年の留学生の通訳や国際交流サロンの他、パッファロー市で行われた姉妹都市提携50周年祝賀式典の資料の英訳もしました。5月に入り、初めての海外出張に行ってきた。金沢市代表団の通訳者としてユネスコ創造都市ネットワークのモニター会議に参加しました。会議の英語を日本語に訳すのに大変ブ

レジャーを感じましたが、幸いにも全てがうまくいきました。その翌月6月には息つく間もなくパッファロー市代表団の受け入れの準備を始めて、百万石行列やレセプションを含んだ約一週間にわたるアテンド業務をしました。

去年の夏に能楽美術館がリニューアルされる前に、館の1階の英訳と新しいパンフレットの英語版を担当しました。また、北陸新幹線の開業にむけて、外国人にとって金沢がもっと訪れやすい場所になるために金沢駅の駅西広場表記等にも力を入れました。秋には金沢国際交流財団が開催した国際交流まつり、子ども向けの姉妹都市フェスタ、第3回の初心者向けの英語講座といった金沢市民と触れ合うことが出来た幅広いイベントに携わりました。

今年は国際交流員としての最後の年ですが、任期が終わるまでにこれからも金沢の多くの人のお役に立てればと思います。



マリス・ホルヴァート (ベルギー)

Dag iedereen! (皆さんこんにちは！)

去年の親善ニュースの記事を書くのはほんの昨日のことみたいです。しかも、すでに1年が経過しました！多くの出来事が起きた1年間でした。金沢とゲント市との交流が活発で、ベルギー国際交流員としてとても忙しかったです！

ハイライトの一つは自分の初めての出張であり、市代表団の欧州訪問でした。普段は海外の代表団を金沢市に案内しますから、今回ゲント市で金沢の代表団を案内することは不思議な感じがしました

ハAGENTへの訪問のおかげで、両市の間にある友好関係を深めることができ、なお一層の交流の基礎を築くことができ、これから生まれる交流事業が楽しみです。

でも私はもうその進展をすぐ近くからは目撃できなくなります。8月から席を次の人に譲り渡しますから。国際交流員として働いた2年間には、金沢市国際交流課という思いやりのある環境の中で多くのことを経験するチャンスに恵まれました。日本での生活で一番心に残るものは、様々な人との間に生まれた、温かい友好関係です。職場の同僚、そして金沢市で出会った人々のことを、一生忘れません。皆様のおもてなしに心から感謝致します。大変お世話になりありがとうございました！



ジュリー・ヴァルク (フランス)

皆さん、ボンジュール！東フランスのストラスブール市から来ましたジュリー・ヴァルクです。3年間金沢にいたモハメド・ガネムの後任です。去年、丁度今の時期にJETプログラムに合格したことが分かりました。その時の嬉しさは今もよく覚えています。去年の8月、実際に金沢に来てから改めて恵まれたと感じました。金沢は文化、伝統、工芸、歴史、美食等で豊かな町で、日本だけではなくて世界で唯一の町なので、こちらで仕事をさせていただくことになったのは大変嬉しく思っています。

インターンシップ以外に仕事を経験したことがなくて、来日する

前には新しい職場の期待に添えるかどうか、又は日本語能力が相應しいかどうか心配しましたが、職場の方がいつも応援してくれたので自信を持つようになってきました。

早いもので、もうすぐ来日してからずっと楽しみにしていた桜の時期に入ります。短い7ヶ月間に様々な仕事に触れることが出来ました。市民対象の講座、通訳、翻訳、料理講座、学校訪問、ラジオ出演といった幅広い仕事に積極的に取り組んでいます。経験やスキルをだんだん身につけて、しっかり仕事ができるようになっていく気がしますのでとても嬉しいです。

これからも精一杯頑張ってお互いの交流を深めるために、金沢市民の方々にフランスの文化にふれてもらいながら日本や金沢の文化の知識をより一層深めたいと思います。



張臻 (中国)

ダージャーハオ！

中国の国際交流員張臻と申します。2012年4月に金沢の姉妹都市蘇州市から参りました。昨年金沢に来た時には、ちょうど桜の花が満開で、兼六園が桜の花に囲まれていた様子は一生忘れられない思い出です。まだ来たばかりかと思っていますが、そろそろ帰国になります。金沢市の同僚、友達と別れて、本当に寂しいと思います。私にとって、金沢での1年間の滞在は非常に有意義なものでした。

仕事の内容は翻訳、通訳、表敬訪問、学校訪問、他には文化講座、料理講座、料理教室、国際交流祭りの司会、ラジオの出演、

中国人向けの進学説明会の通訳、facebookプロジェクト特派員など様々でした。

なかでも2012年10月の市代表団による蘇州市訪問や、7月の金沢市中学生親善団、9月の大連青少年フェスティバル金沢訪問団などのイベントに通訳として仕事をできたのは良い経験となりました。

仕事のほかにも、プライベートでの北海道や鹿児島への旅行、上司・同僚との白山山登り、暖かい歓送迎会など、私にとって大切な思い出です。

帰国して、金沢の風景、文化、人の優しさを学校の学生に紹介します。そして金沢と蘇州の友好交流に力を尽くしたいと思います。

皆さん、この一年間お世話になりました！ありがとうございました！また、蘇州でお会いしましょう！



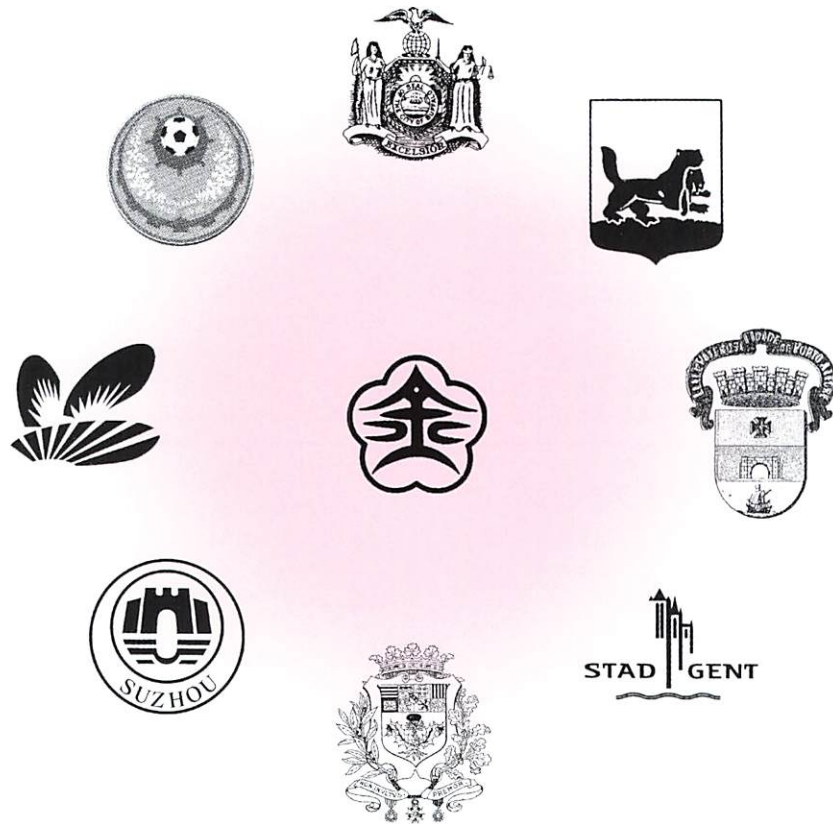
李瑜林 (韓国)

皆さん、アンニョンハセヨ (こんにちは)

2011年4月から国際交流員として務めている韓国出身の李瑜林です。金沢に来てからもうすぐ3年目を迎えます。まさに「光陰矢のごとし」と言う言葉を実感するこのごろです。国際交流員はその年の大きな行事により色々なことが経験できます。去年は金沢市・全州市の姉妹都市提携10周年という節目の時期だったので韓国・全州市にも出張させてもらいました。姉妹都市提携10周年記念式典参加や金沢市立工業高校と全州市工業高校との姉妹校提携関連の通訳をさせていただきました。両市の更なる交流のため一緒にできたのは自分にとってとても光栄

なことだと思っています。また去年はfacebookやメールを通じて金沢の情報を日本語と韓国語の2カ国語で発信することや2015年に開催される金沢マラソン向けの広報DVDの韓国語ナレーションを録音することなど今まで経験したことのない仕事をたくさんさせていただきました。今年はどうのお仕事が私を待っているのかとても楽しみです。

去年からは金沢市内にあるダンスサークルにもメンバーとして入会しプライベートの生活も楽しく過ごしています。仕事の面でもプライベートの面でもたくさんの方々と交流しながら元気にやっていければと思っています。今年も頑張ります！では金沢の皆さん今年もチャクブタクハムニダ (よろしくお願ひします)



第39号 (2012・平成24年度)

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市市長公室 国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069

E-mail : kokusai@city.kanazawa.lg.jp